

研究課題：Human herpes virus 6 脳症後のてんかん発症についての検討

1. 研究の目的

Human herpes virus 6 (HHV6)は1歳までに90%が罹患します。急性脳症の病原として17%にHHV6を認め、HHV6脳症後のてんかん発症は3.3%と報告されています。

本研究では、埼玉県立小児医療センター神経科でHHV6脳症後のてんかん発症について検討することを目的にしています。

2. 研究の方法

【対象】2000年1月1日から2018年3月31日までに当センター神経科にHHV6脳症で入院した症例を対象に後方視的に検討しました。免疫抑制状態に伴うHHV6の再活性化によるHHV6脳症およびHHV6脳症発症前にてんかんと診断された症例は除外しました。

【方法】診療録をもとに、性別、年齢、既往歴、家族歴、身体所見、血液/髄液検査所見、頭部画像検査所見、脳波検査所見、HHV6脳症に対する治療、HHV6脳症の後遺症、てんかん発症後の治療などの情報を連結不可能な匿名化を図った上で後方視的に収集し、Human herpes virus 6脳症後のてんかん発症について検討します。

【匿名化の方法】

症例ごとに管理IDを付し、患者氏名を伏せた状態で本研究を実施します。

医療及び医学的研究等の実施責任者：神経科 浜野晋一郎

3. 研究期間

本研究の期間は2018年4月1日～2020年3月31日

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録をもとに、性別、年齢、既往歴、家族歴、身体所見、血液/髄液検査所見、頭部画像検査所見、脳波検査所見、HHV6脳症に対する治療、HHV6脳症の後遺症、てんかん発症後の治療などの情報。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

本研究は、個人情報取扱いに関して、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に適用される法令等に従い、本研究計画書を遵守して実施します。

他施設で当該患者の検体測定を行う際には、資料・情報等を当科主治医が匿名化した上で送付し、研究・解析に使用されます。

本研究の成果は学会及び論文にて公表する可能性があります。発表する際には、研究対象者の個人を特定できる情報は一切使用しません。

6. 研究組織

研究代表者：埼玉県立小児医療センター 神経科 浜野晋一郎

分担研究者：同科 小一原玲子、松浦隆樹、平田佑子、池本智、久保田淳、代田惇朗

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2018年12月31日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）